



根本 圭介 (NEMOTO Keisuke)

東京大学大学院農学生命科学研究科 教授

東京大学農学部卒業、
同大学院農学系研究科博士課程修了、
農学博士 (東京大学)。

東京大学大学院農学生命科学研究科助手、東京大学アジア生物資源環境研究センター助教授を経て 2005 年 12 月より現職。その間、カリフォルニア大学バークレー校在外研究員をつとめる。

専門は栽培学。DNA マーカー技術を利用した作物の農業形質 (収量性や不良環境耐性など) の遺伝学的研究に従事。国内における研究はもとより、独自に育成してきた遺伝分析用系統群をタイや中国の不良土壌地帯で栽培し、不良環境と収量性の遺伝的な関わり合いについても研究を行ってきた。また、昨年春の福島原発事故より稲の放射線汚染に関する調査にも携わっており、現在、福島県伊達市の市政アドバイザーとして稲作の放射線対策の指導を行っている。

著書に『作物学用語事典』(農文協、2010)、『地球環境と作物』(博友社、2007) 等。(著書はいずれも共著)